さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

問1

シャトレーゼが、イチゴの生産を始めます。栽培する畑の面積と年間収穫目標を答えてください。

・畑の面積

・年間収穫目標

ケーキ用イチゴ 自前で

シャトレーゼ

工場隣接地で栽培、年100トン

菓子製造販売のシャトレーゼ（甲府市下曽根町、古屋勇治社長）が、イチゴの生産に乗り出す。中央市内の豊富工場西側の耕作放棄地にハウスを整備し、来年度から年間約100トンの収穫を目指す。自社栽培を行うのは初めて。鮮度の高いイチゴを商品のケーキに使用するとともに、輸送コストの削減を目指す。〈渡辺真紗美、桑原久美子〉

シャトレーゼがイチゴ栽培を行う予定地＝中央市高部

同社によると、栽培は豊富工場（中央市高部）の西側にある借地約2・6ヘクタールで行う。現在は耕作放棄地となっており、栽培用のハウスを新たに整備する。農地整備には農林水産省の「強い農業づくり総合支援交付金」を活用する。

昨年11月に設立した子会社「シャトレーゼファーム」が栽培に当たる。イチゴは全てハウス栽培し、年間約100トンを収穫する計画。ケーキをはじめとする生菓子に使用する。工場の隣接地で栽培することで、高い鮮度を維持したまま使用でき、燃料費をはじめとする輸送コストの削減や耕作放棄地の解消にもつなげる。2024年度の初収穫を目指す。

同社は現在、ケーキなどに使用するイチゴを契約栽培農家から直接仕入れている。同社は「生産見込み量は年間使用量の10％未満で、現在の契約農家からの購入量に影響はない」としている。

一方、中央市は6月定例議会に提出する一般会計補正予算案に、国からのシャトレーゼ・ファームに対する農業支援交付金4億407万円を盛り込んでいる。

（2023年6月3日付　山梨日日新聞7面）

問2

新たに畑として整備する場所は、どこの何を活用しますか。

・どこの　：

・何　を　：　　　　　活用

問3

工場の隣接地で栽培することは、どのような利点がありますか。3つ答えてください。

・

・

・

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.